

表 4.6 E A S T 3 0 機系統モデルの概要

項 目	内 容	備 考
系統基準容量	1 0 0 0 M V A	
系統周波数	5 0 H z	
発電機数	3 0 機	
ノード数 (母線数)	1 0 7 ノード	
ブランチ数 (送電線数) (変圧器数)	1 9 1 ブランチ (1 3 6) (5 5)	送電線数は、1 回線分を 1 ブランチとしてカウ ント
発電機定格容量合計 および発電機出力合計 昼間断面 (重負荷時) 夜間断面 (軽負荷時)	93,880MVA (73,540MW) 93,880MVA (発電出力 : 50,120MW) (揚水電力 : -9,270MW)	
負荷合計 昼間断面 (重負荷時) 夜間断面 (軽負荷時)	72,600MW 40,180MW	
発電機モデル	Y 法の LGT=4 (全発電機同一)	
発電機本体定数	表 4.7 参照	
発電機慣性定数	表 4.7 参照	
励磁系モデル	Y 法の LAT=1 (全発電機同一)	付図 1.1 参照
調速機系モデル	Y 法の LPT=1 (火力・原子力機) 4 (水力機)	付図 1.2 参照 夜間の揚水運転中の発電 機についてはガバナロッ ク(LPT=0)
発電機昇圧用変圧器 リアクタンス タップ比	図 4.16 参照 表 4.8 参照	
送電線モデル	型等価回路	インピーダンスは 図 4.16 参照
負荷特性 基本特性	有効電力 : 定電流特性 無効電力 : 定インピーダンス特性 [Y 法の NLT=2 (全負荷同一)] 有効電力特性切替電圧 : 0.7pu	付図 1.5 参照
調相設備容量	昼間断面 : (SC) 8,200MVA 夜間断面 : (ShR) 680MVA	
その他 (周波数関連) 発電機のガバナ運転余裕 負荷の周波数特性 有効電力 無効電力	表 4.8 参照 4%/Hz (全負荷同一) -2%/Hz (全負荷同一)	Y 法の PLM 設定値 (注)

(注) 付録 1. の「付 1.3 調速機系モデル」参照